








「猛暑に注意!! 暑熱対策を確認しましょう！」

日本気象協会 tenki.jp の天気予報（表1）によると、今後も最高気温が30℃を超えるような高温、最低気温も20℃を下回らないような蒸し暑い日が続くことが予想されています。暑熱ストレスによる生産性（乳量の減少・乳成分の低下）や繁殖性（繁殖成績の低下）を最小限にするため対策しましょう。

表1 日本気象協会 tenki.jp の天気予報（7/25発表）別海町

日付	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3
天気							
最高気温(℃)	31	32	32	31	28	30	27
最低気温(℃)	21	20	20	19	18	18	17

【暑熱ストレス軽減対策（例）】

牛は20℃を越えると暑熱を感じます。

1 飼養環境の確認

- 牛舎の窓や戸を開放し、牛舎内の換気を最大化
- 扇風機などを利用して牛体（肩口）に風を当て牛の体温を下げる
- トンネル換気やリレー式換気等を設置している牛舎では、フル稼働
- 直射日光や反射光が当たらないように遮光ネットやカーテン、すだれなどを設置
- パドックや放牧地に牛を出す場合は、日照りを避け、早朝や夜間など涼しい時間に変更

2 飼養管理の確認

- 給水施設を清潔に、新鮮な水を十分に供給できることを確認する
- 飼槽を清潔に、乾物摂取量を低下させないため、良質な粗飼料を給与、給餌やエサ押し
の回数を増やす
- 涼しい時間帯に採食できるよう、夕方の給与量を増やす
- ルーメン内の安定性とミネラル不足を補うために重曹やミネラル等の給与
- 牛体（頸～き甲部）に直接水をかけ、気化熱で牛体を冷却する

3 その他

- 人も水分補給やこまめに休憩を取るなど暑熱対策をし、熱中症対策しましょう。
- 暑熱対策には施設や機械の改修等コストが伴う場合もありますが、今対処できる最善を検討しましょう。